

認定団体登録事業計画書

活動場所	赤野井自治会館・赤野井町内・守山市内・市立図書館等
解決したい地域の現状や課題	赤野井町内にある「未指定文化財」や赤野井自治会館に眠る「古文書」や「古地図」「高札」がほとんど知られることなく保管されている。 また、昭和初期から戦中、終戦後、高度経済成長期における人々の暮らしや生きざまの記録が少なく、語り継ぎも滞っている。
今後の事業予定 （市ホームページに掲載する文章として記入ください） 《600文字以内》 ※複数の事業を行う場合は、優先順位の高い順に記載してください。	毎月第1水曜日の午後1時30分～3時30分の例会や研修会の開催 4月・・・事業計画策定 5月・・・研修：守山市公文書館 6月・・・戦争体験の聞き取り調査 7月・・・研修：幻の寺院の変遷 8月・・・公開例会 テーマは「戦争体験談と銃後の日常」 講師：滋賀県平和祈念館職員 戦争遺品やアルバム等の展示とフィールドワーク 9月、10月・・・常照寺と村瀬家（庄屋）古文書の研究 11月・・・第7回赤野井歴史探訪講座（大庄屋諏訪家まつり協賛） 「赤野井と大庄屋諏訪家屋敷や常照寺、村瀬家（庄屋）の古文書」 室町期から江戸時代までの赤野井の歴史を古文書から紐解く、赤野井の歴史 講師：未定 12月、1月・・・古道と水運の研究・研修 2月・・・第8回赤野井歴史探訪講座（守山市立図書館） 「古地図から見える赤野井と中山道、琵琶湖水運」（仮題） 古地図から出てくる赤野井への人や物の流れを推測する 講師：未定 3月・・・1年間のまとめと次年度に向けての課題検討 本会で得た情報を小学校等に「語り部の会」を通して随時発信して、小さい時から地元の歴史に興味を持つ子どもの育成に協力をする。

期待される効果	地域に眠る歴史文化や言い伝えを調べ、歴史探訪講座としてわかりやすく地域住民に伝えることにより、まちづくりに興味を持ち、地域活性化への起爆剤となることが期待される。
事業実施体制	今までの２年間で６回の講座開設の実績を通して、赤野井の歴史が「今日にも通じるような何か」を見つけ出す機会となりつつある。 調査研究体制を充実するため、講座開設を年２回とし、例会時に他地域への視察、研修も取り入れる。 また、公開の例会を年１～２回実施し、新たな会員の獲得をめざす。 自治会や大庄屋諏訪家屋敷との連携を密にし、広く地域住民に研究成果や資料展示を発表する。（大庄屋諏訪家祭りの協賛イベントとして、本会研究成果を発表する場を設ける。） 代 表：谷口 喜久 副代表：酒井 信次 事務局長：眞田 善之 監 査：美濃部六郎 会 員：１３名
事業のPR方法 (寄附の獲得)	赤野井自治会のホームページや市の広報に本会の活動やイベント情報を掲載してもらう。 有線放送を通じて、イベント情報等を発信する。
自主的・継続的に活動していくための工夫	守山市文化財保護課や公文書館、赤野井自治会や大庄屋諏訪家屋敷、守山市立図書館等と連携して本活動を展開する。また、矢島歴史の会や他に同様の活動をしている団体や守山市ボランティア観光ガイド協会等とも連携し、本会で得た様々な情報を発信し、団体同士の交流を深める。 県内各地で制作されている「心象絵図」（滋賀県立大学 上田洋平先生考案）を作成する準備をし、会員相互の達成感や充実感を得る取り組みを始める。
申請事業に対する補助金や委託料等財源確保の取組み	２０２１年 守山市民提案型まちづくり支援事業助成金で活動 ２０２２年 守山市民提案型まちづくり支援事業助成金で活動

様式第3号（第7条関係）

事業収支予算書（2024年4月1日～2025年3月31日）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補 助 金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	補助目標額 177000 円
自 己 資 金 (会費等)		0 円
事業収入 (受益者負担金)	講座参加費（200円×20人×2回）	8000 円
その他		円
収 入 合 計		185000 円

【支 出】

科 目	内 容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	円
報償費	講師謝礼 20,000 円・手土産 9,000 円	円	29000 円
旅費交通費	講師打ち合わせガソリン代	円	2000 円
消耗品費	印刷代、チラシ、事務用品	円	48000 円
印刷製本費	資料印刷代、チラシ、パネル制作費	円	100000 円
食糧費及び食材費	戦時食づくりの食材費（出汁、麦、野菜：20人分）	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	郵便費（封書、はがき5通、冊子類の送付など）	円	1000 円
手数料		円	円
保険料		円	円
委託料		円	円
使用料及び賃借料		円	円
材料費		円	円
その他		円	円
支 出 合 計		円	185000 円

※年度毎にわけて記入してください。

様式第 3 号（第 7 条関係）

事業収支予算書（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補 助 金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	補助目標額 177000 円
自己資金 (会費等)		0 円
事業収入 (受益者負担金)	講座参加費（200 円×20 人×2 回）	8000 円
その他		円
収 入 合 計		185000 円

【支 出】

科 目	内 容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	円
報償費	講師謝礼（20,000 円）・手土産（9,000 円）	円	29000 円
旅費交通費	講師打ち合わせガソリン代	円	2000 円
消耗品費	印刷代、チラシ、事務用品	円	48000 円
印刷製本費	資料印刷代、チラシ、パネル制作費	円	100000 円
食糧費及び食材費	戦時食づくりの食材費（出汁、甘藷、麦、20 人分）	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	郵便費（封書、はがき 5 通、冊子類の送付など）	円	1000 円
手数料		円	円
保険料		円	円
委託料		円	円
使用料及び賃借料		円	円
材料費		円	円
その他		円	円
支 出 合 計		円	185000 円

※年度毎にわけて記入してください。

様式第 3 号（第 7 条関係）

事業収支予算書（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補 助 金	守山市豊かな市民活動のまち応援事業補助金	補助目標額 177000 円
自 己 資 金 (会費等)		0 円
事業収入 (受益者負担金)	講座参加費（200 円×20 人×2 回）	8000 円
その他		円
収 入 合 計		185000 円

【支 出】

科 目	内 容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	円
報償費	講師謝礼（20,000 円）・手土産（9,000 円）	円	29000 円
旅費交通費	講師打ち合わせガソリン代	円	2000 円
消耗品費	印刷代、チラシ、事務用品	円	48000 円
印刷製本費	資料印刷代、チラシ、パネル制作費	円	100000 円
食糧費及び食材費	戦時食づくりの食材費（出汁、甘藷、麦、20 人分）	円	5000 円
光熱水費		円	円
通信運搬費	郵便費（封書、はがき 5 通、冊子類の送付など）	円	1000 円
手数料		円	円
保険料		円	円
委託料		円	円
使用料及び賃借料		円	円
材料費		円	円
その他		円	円
支 出 合 計		円	185000 円

※年度毎にわけて記入してください。